

学校だより

東泉丘

令和4年(2022年)11月号
全児童数 590人(9/22現在)
豊中市立 東泉丘 小学校
校長 河上 洋介



全国学力・学習状況調査の結果について

4月19日(火)に、に実施した全国学力量習状況調査(6年)及び府のすくすくテスト(5・6年)の本校の結果について、お知らせします。5、6年生の子どもたちには、個人結果票や問題用紙を10月中旬に返却しています。

まず、6年生が取り組んだ全国学力・学習状況調査の概況です。平均正答率は、府、全国をやや上回っていました。正答数分布で見ると、ばらつきが少なめで平均に近いところにかたまっています。また、問題形式別の正答率では、記述式の問題で府や全国をやや上回っていました。このことについて、すくすくテストの児童アンケートでは「書くこと」にかかる「自分の考えをノート等書いている」「先生や友達の話を書いている」といった項目で「あてはまる」と回答した児童の割合が、府や市を上回っていました。普段から「書く」学習活動を授業に取り入れていることが、テストの結果にもあらわれたものと考えます。

国語では、「読むこと」にかかる設問で府や全国をやや上回っていました。逆に「我が国の言語文化」にかかる設問では、正答率が府や全国をやや下回っていました。具体的には、手紙を読みやすく書き直す前後を見比べ、「行の中心」に気をつけて書き直していることを選択肢から選ぶ問題でした。

算数では、問題別で見たときに、割合にかかる設問で課題が見られました。これは府や全国でも同じ傾向です。具体的には、果汁が20%含まれるりんごジュースについて、ジュースの量が2分の1になっても含まれる果汁の割合は変化しませんが、果汁の割合も2分の1になると解答した児童が大変多かったです。量と割合を混同していると考えられます。

理科では、問題別で見たときに、府や全国の前答率を大きく下回るものがありました。具体的には、メスシリンダーの絵を見て名前を答えるものでした。ビーカーや試験管等、別の器具の名前を書いている誤答が多くありました。なお、質問紙調査のうち「理科の学習は大切だと思う」や「将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う」といった項目の結果で、府や全国に比べて「あてはまる」と回答した児童が少なくなっていました。

次に、5年生が取り組んだすくすくテストの結果概況です。平均正答率では、国語、算数、理科いずれも、府、全国を上回っていました。

国語の問題別で見たとき、正答率が低かったものが2問ありました。1つは「今日の話合いの目的は、学級目標について考えます。」の下線部を「考えることです。」等と正しく書き直す問題で、もう1つはことわざの意味を問う問題でした。これは、府も同様の傾向でした。逆に正答率が高かったものは、「広島」を「Hiroshima」とローマ字で書く問題でした。

算数の問題別で見ると、「雨の日数と最高気温」にかかるグラフから読み取れることを選

択肢の中から2つ選ぶ問題で、府に比べて正答率が高くなっていました。府全体の誤答傾向を見ると、1つしか選んでいないという誤答が多かったです。

理科の問題別で見ると、乾電池の直列つなぎについて、導線を絵に書きこみ、つなぎ方の名前を答える問題で、正答率が低くなっていました。

すすくテストのわくわく問題は、5年生も6年生も同じ問題に取り組みました。わくわく問題は、教科横断型の問題です。問題別で見たときに、5、6年とも、正答率が非常に低い問題がありました。具体的には「自動で動く車」にかかるグラフや表から読み取れることを択肢の中から選ぶものです。この問題の難しさは、資料の説明の最初に「自動で動く車は運転を支援する車と自動運転車の2つに分かれます。」と書かれていて、よく似た3つの言葉が出てくるので、それらを混同してしまうところにあると考えられます。

まとめ

- ・本校6年児童は、記述式の問題に強みがあります。今後も、ノート指導等を通して、書く活動を充実させ、長所である書く力を伸ばしていきたいと考えます。その際、文章や表、図、グラフ等、複数の資料をもとにしながら「自分の考え」を書く活動を充実させることが大切です。

- ・タブレットを用いた学習を授業に取り入れつつも、鉛筆やノートを使って書く活動が十分にできるように配慮することも大切です。その際、習った漢字を使って書くことや、行の中心を揃える等、読む人がよみやすいように工夫して書くこと等に気をつけるよう指導することが大切です。

- ・量と割合を混同して考えたりしないよう、算数に限らず、基本的な学習内容について普段の授業の中で繰り返し指導することが大切です。

- ・理科では観察や実験の時間を充実させる等、具体的な体験をもとに理解することができるよう、学習活動を工夫することが大切です。また、学習内容と自分たちの実際の生活を結びつけることによって、学習に対する意欲や関心を高めることができるよう工夫することも大切です。

<連絡やお願い>

- ・本校では、学校教育自己診断について、保護者対象、児童対象のアンケートを隔年で実施しており、今年度は、保護者対象のアンケートを実施する年度にあたっています。お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力くださいますようお願いいたします。11月中旬にコドモンのアンケート機能を使用して実施します。

- ・また、教職員の授業力向上に活用することを目的として、授業アンケートを実施します。11月4日（金）に用紙を配付し、11日（金）しめきりとしています。ご協力ください。

本校の目指す学校像「ひとりひとりが輝く楽しい学校」

目指す子ども像「伝え合い 認め合い 高め合い 3つの合い（愛）」